

究が必要である。今後、費用面だけでなく、安全性や効果の検証、関係者・関係機関からの意見の聞き取りを行っていきたい。

竹内滋泰（自由クラブ）

市民一体となって
鳥獣被害の撲滅を

問 今後の有害鳥獣対策の取り組みについて伺う。

答 本年度からは、個々に田畑を囲うのではなく、地元議員、町会役員、農家等を中心に住民の協力を得



捕獲されたイノシシ

ながら、防護柵で地域を囲む方法の実施を考えている。

東三河広域連合 について

問 当初から取り組む6事業の検討の進捗状況とそのメリットは。

答 検討部会等で議論を重ね、27年度に社会福祉法人の認可等に関する事務、障害支援区分認定審査会の設置及び運営に関する事務、消費生活相談に関する事務の一部、28年度に滞納整理事務、航空写真及び地形図データ作成に関する事務、30年度に介護保険事業の開始を予定している。行政サービスの質の向上、行政運営体制の強化という効果、設立後10年間で広域連合全体では約40億円、本市では約5億円の経費削減が見込まれている。

問 設立の時期について伺う。

答 26年12月議会に広域連合規約議案を提出し、8市町村で可決後、27年1月に県知事に設置許可申請を行う。許可を受け、2月

または3月に広域連合を設立し、4月から事務事業を開始する予定である。

青山義明（自由クラブ）

消防署の緊急車両の
通行について

問 国道23号蒲郡バイパスの西部区間の開通により、交通量が増加し緊急車両の通行に支障が出ていると聞く。水竹町一反田交差点付近を片側二車線化する等の対策は考えているのか。

答 県に要望を行い、改善を図っていきたい。



一反田交差点の様子

市独自の 企業用地の造成は

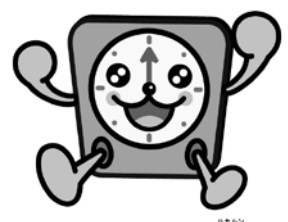
問 蒲郡市内の事業用地取得に関心がある事業者へのアンケートから1ha以下の土地を求める企業が多いとのことだが、市独自で農地転用等をして開発する考えはあるか。

答 立地する企業が定まらない段階の開発は、効率も悪くリスクを伴うので現状では困難と考えるが、民間から相談があれば企業立地の可能性を検討し開発計画等の手伝いをしたい。

蒲郡のシテイセールス として2事業の開催は

問 フルマラソン大会や2015国土交通大臣杯パワーボートレース日本グランプリin蒲郡（仮称）に向けて市の考えは。

答 フルマラソンはできるだけ早い時期に開催が可能か判断をする。パワーボートレースは関係機関への働きかけ等の協力をしてバックアップしていきたい。



大竹利信（公明党）

体重測定100日チャレンジ！めざせ1万人！は

問 蒲郡いきいき市民健康づくり事業の一環として「体重測定100日チャレンジ！めざせ1万人！」事業が10月より始まるが、目的と効果はどのようか。

答 目的は、市民が100日間、毎日体重測定することにより、自己の適正体重を認識し健康を意識するようになること、日々の